

「分別・リサイクルの今後の方向性」及び「食品ロスの削減に向けた方策」 について答申をいただきました

本市では、横浜市廃棄物減量化・資源化等推進審議会（大迫 政浩 会長）を設置し、ごみの減量化・資源化や適正処理に関する施策について、有識者の方々にご議論いただいています。

本日（2月5日）、同審議会から「分別・リサイクル」及び「食品ロスの削減」について答申をいただきました。



大迫会長（右）から平原副市長に
答申書が手渡されました

1 諮問の趣旨と経過

横浜市では、横浜市一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ3R夢プラン）に基づき、ごみの減量化や適正処理を進めています。分別品目の拡大から10年以上が経過し、リサイクルをとりまく状況が変化していることや、食品ロスが廃棄物分野にとどまらない課題として注目されていることをふまえ、今後のごみ減量化に向けた方向性を検討していくため、平成28年12月に審議会へ諮問しました。

これを受けて、審議会では「小委員会」を設置し、5回にわたり検討を進めてきました。その後、審議会での議論を経て答申としてとりまとめられました。

2 答申のポイント

- 缶・びん・ペットボトルの混合収集の見直しや、ガラス・陶磁器類、せん定枝などの新たな品目のリサイクルについて、市民理解や費用の面を考慮しつつ、検討すべき
- リサイクル産業の活性化や新たな技術開発に向けた取組を、事業者と連携しつつ進めるべき
- 食品ロス削減の目標を設定し、市民・事業者と共有することで、着実に削減を進めるべき
- 食品小売業・外食産業と連携した取組や、フードバンク・フードドライブへの支援など、様々なつながりを活かして食品ロス削減の取組を広めていくべき

（答申の詳細は別添の通り）

3 今後の対応

審議会からの答申をふまえ、ヨコハマ3R夢プラン次期推進計画の策定を進め、平成30年秋頃に計画を確定する予定です。計画の策定にあたっては、市民・事業者の皆様からのご意見をいただきながら、進めていきます。

※横浜市廃棄物減量化・資源化等推進審議会の詳細は、横浜市資源循環局ホームページをご覧ください。
[<http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-keikaku/shingikai/>]

※写真のデータが必要な場合は、裏面の問合せ先までご連絡ください。

【参考】横浜市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 委員名簿

(平成 29 年 9 月 1 日～ 五十音順、敬称略)

	猪口 英子	消費生活推進員
会長	<u>大迫 政浩</u>	国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長
	大隅 均	横浜商工会議所 理事・事務局長
	沖野 智子	日本公認会計士協会神奈川県会 公認会計士
	小野田 弘士	早稲田大学理工学術院大学院環境・エネルギー研究科 教授
	<u>川村 久美子</u>	東京都市大学メディア情報学部 教授
	佐藤 輝	フェリス女学院大学国際交流学部 教授
	佐藤 明美	南区環境事業推進委員連絡協議会 副会長
	鈴木 一男	NPO法人美しい港町横濱をつくる会 会長
会長職務代理	<u>西尾 チヅル</u>	筑波大学大学院ビジネス科学研究科 教授
	野田 宗志	日本チェーンストア協会関東支部 事務局次長
	畑尻 明	横浜市町内会連合会（保土ヶ谷区連合町内会長連絡会 会長）
	<u>藤倉 まなみ</u>	桜美林大学リベラルアーツ学群 教授
	宮澤 廣幸	神奈川県弁護士会 弁護士
	桃井 富子	港北 3 R 夢サポーター 会長
	吉田 聡	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 准教授

※ 氏名に下線がある委員は小委員会委員

お問合せ先
資源循環局政策調整課長 中坪 学一 Tel 045-671-2537